

取扱説明書

機種名称

マイクロミストセパレータ

型式 / シリーズ

 $AFD20-(F, N) 01 \sim (F, N) 02 (B, C) (-2, 6, C, J, R, Z)$

 $AFD30-(F, N)02\sim (F, N)03(B, C, D)(-2, 6, 8, J, R, W, Z)$

 $AFD40-(F, N) 02 \sim (F, N) 04 (B, C, D) (-2, 6, 8, J, R, W, Z)$

AFD40-(F, N) 06 (B, C, D) (-2, 6, 8, J, R, W, Z)

SMC株式会社

目次

	ページ
1. 安全上のご注意	1~4
2. 用途	5
3. 標準仕様	5
4. 型式表示方法	5
5. 最大処理流量	6
6. 故障と対策	6
7. 構造図/パーツリスト	7
8. ケースアセンブリ仕様	8 ~ 10
9. 交換作業要領	11
10. 分解図	12~13
11. 外形寸法	14





マイクロミストセパレータ 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。これらの事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「注意」「警告」「危険」の三つに区分されています。いずれも安全に関する重要な内容ですから、国際規格(ISO / IEC)、日本工業規格(JIS) *1 およびその他の安全法規 *2 に加えて、必ず守ってください。

*1) ISO 4414: Pneumatic fluid power -- General rules relating to systems

ISO 4413: Hydraulic fluid power -- General rules relating to systems

IEC 60204-1: Safety of machinery -- Electrical equipment of machines (Part 1: General requirements)

ISO 10218-1992: Manipulating industrial robots -- Safety

JIS B 8370: 空気圧システム通則 JIS B 8361: 油圧システム通則

JIS B 9960-1: 機械類の安全性 - 機械の電気装置(第1部: 一般要求事項) JIS B 8433-1993: 産業用マニピュレーティングロボットー安全性 など

*2) 労働安全衛生法 など

 $\bigwedge_{\stackrel{\wedge}{\wedge}}$

注意

取扱いを誤った時に、人が傷害を負う危険が想定される時、および物的損害のみの発生が想定

されるもの。

警告

取扱いを誤った時に、人が死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。

危険

切迫した危険の状態で、回避しないと死亡もしくは重傷を負う可能性が想定されるもの。

八 警告

①当社製品の適合性の決定は、システムの設計者または仕様を決定する人が判断してください。

ここに掲載されている製品は、使用される条件が多様なため、そのシステムへの適合性の決定は、システムの設計者または仕様を決定する人が、必要に応じて分析やテストを行ってから決定してください。

このシステムの所期の性能、安全性の保証は、システムの適合性を決定した人の責任になります。

常に最新の製品カタログや資料により、仕様の全ての内容を検討し、機器の故障の可能性についての状況 を考慮してシステムを構成してください。

②当社製品は、充分な知識と経験を持った人が取扱ってください。

ここに掲載されている製品は、取扱いを誤ると安全性が損なわれます。

機械・装置の組立てや操作、メンテナンスなどは充分な知識と経験を持った人が行ってください。

- ③安全を確認するまでは、機械・装置の取扱い、機器の取外しを絶対に行わないでください。
 - 1. 機械·装置の点検や整備は、被駆動物体の落下防止処置や暴走防止処置などがなされていることを確認 してから行ってください。
 - 2. 製品を取外す時は、上記の安全処置がとられていることの確認を行い、エネルギー源と該当する設備の 電源を遮断するなど、システムの安全を確保すると共に、使用機器の製品個別注意事項を参照、理解し てから行ってください。
 - 3. 機械・装置を再起動する場合は、予想外の動作・誤動作が発生しても対処できるようにしてください。
- ④次に示すような条件や環境で使用する場合は、安全対策への格別のご配慮をいただくと共に、あらかじめ当社へご相談くださるようお願い致します。
 - 1. 明記されている仕様以外の条件や環境、屋外や直射日光が当たる場所での使用。
 - 2. 原子力、鉄道、航空、宇宙機器、船舶、車両、軍用、医療機器、飲料・食料に触れる機器、燃焼装置、娯楽機器、 緊急遮断回路、プレス用クラッチ・ブレーキ回路、安全機器などへの使用、およびカタログの標準仕様に 合わない用途の場合。
 - 3. 人や財産に大きな影響をおよぼすことが予想され、特に安全が要求される用途への使用。
 - 4. インターロック回路に使用する場合は、故障に備えて機械式の保護機能を設けるなどの 2 重インターロック方式にしてください。また、定期的に点検し正常に動作していることの確認を行ってください。



マイクロミストセパレータ 安全上のご注意

/ 注意

当社の製品は、製造業向けとして提供しています。

ここに掲載されている当社の製品は、主に製造業を目的とした平和利用向けに提供しています。

製造業以外でのご使用を検討される場合には、当社にご相談いただき必要に応じて仕様書の取り交わし、契約などを行ってください。

ご不明な点などがありましたら、当社最寄りの営業拠点にお問い合わせ願います。

保証および免責事項/適合用途の条件

製品をご使用いただく際、以下の「保証および免責事項」、「適合用途の条件」を適用させていただきます。下記内容をご確認いただき、ご承諾のうえ当社製品をご使用ください。

『保証および免責事項』

- ①当社製品についての保証期間は、使用開始から1年以内、もしくは納入後1.5年以内です。 また製品には、耐久回数、走行距離、交換部品などを定めているものがありますので、当社最寄りの営業 拠点にご確認ください。
- ②保証期間中において当社の責による故障や損傷が明らかになった場合には、代替品または必要な交換部品の提供を行わせていただきます。

なお、ここでの保証は、当社製品単体の保証を意味するもので、当社製品の故障により誘発される損害は、保証の対象範囲から除外します。

③その他製品個別の保証および免責事項も参照、理解の上、ご使用ください。

『適合用途の条件』

海外へ輸出される場合には、経済産業省が定める法令(外国為替および外国貿易法)、手続きを必ず守ってください。

設計上のご注意

⚠

警告

- ① 周囲雰囲気上、漏れが許容できない場合や空気以外の流体をご使用する場合には、当社 までご連絡ください。
- ② 外部には、ケース(材質:ポリカーボネート)などの樹脂部品を使用しています。シンナー、アセトン、アルコール、塩化エチレンなどの有機溶剤、硫酸、硝酸、塩酸などの化学薬品、切削油、合成油、エステルベースのコンプレッサー油、アルカリ、灯油、ガソリン、ねじロック剤などの雰囲気または、付着する場所でのご使用はできません。
- ③ 標準ケースへの圧力の充填と放出を頻繁に行うような使用は避けてください。 ケース破損の原因となります。このようなご使用には金属ケースを推奨します。
- ④ 紫外線が当たる場所や周囲に熱源がある場合には、紫外線や輻射熱を遮蔽してください。

<u>〈</u> 注注

- ① 脈動の起きにくい場所へ設置するようにしてください。エレメントは内・外圧力差が0.1MPa を超えると破損の原因となります。
- ② AD27のオートドレン付の場合、圧力を排気すると、溜まったドレンが洩れる場合があります (製品構造上の洩れであり異常ではありません。)ので、必ずドレン配管を行ってください。

選定

Ŵ

警告

- ① 内部のパッキン類などに鉱油系グリスを使用していますので、出口側に流出する場合があります。ご使用上不備がある場合には、当社まで連絡ください。
- ② N.O.タイプのオートドレンは、作動不良を避けるため、次の使用条件でご使用ください。 使用コンプレッサの出力はO. 75KW以上、吐出流量は100L/min(ANR)以上でご使用ください。 なお、オートドレンを2個以上使用する場合は、上記コンプレッサ能力に使用台数を乗じた値以上の能力のあるコンプレッサをご使用ください。 [2個使用の場合、1. 5KW[200L/min(ANR)]以上のコンプレッサ能力が必要となります。] 使用圧力は、O. 1MPa以上でご使用ください。
- ③ N.C.タイプのオートドレンは、作動不良を避けるため、次の使用条件でご使用ください。 AD27の使用圧力は、O. 1MPa以上、AD37、47の使用圧力は、O. 15MPa以上でご使用ください。

⚠

注意

- -① 定格流量以上は流さないでください。瞬間的に定格流量以上流すと、ドレン、油分の出口側 飛散や機器の破損の原因になります。
- ② 低圧空気(ブロア)では使用できません。機器に応じて最低作動圧力が決まった圧縮空気専用です。最低作動圧力以下で使用すると性能低下、作動不良の原因になります。

取 付

\triangle

注意

- ① 運搬及び取付け時に落下などによる衝撃は加えないようにしてください。 製品の破損や作動不良などの原因になります。
- ② 取付け場所は、湿度及び温度の高い場所には使用しないでください。 製品の使用範囲外での使用は、製品の破損や作動不良の原因となります。
- ③ 空気の出入り口を示す"IN"と"OUT"または、矢印を確認してマイクロミストセパレータを接続してください。逆接続では、正常な機能を得られません。
- ④ドレンの排出口が下になるように、垂直に取付けてください。作動不良の原因になりますので、横向きや上向きでは使用できません。
- ⑤ 製品の下側には、エレメントの交換やドレン抜きのためのスペースを設けてください。 スペースについては、外形寸法を参照ください。

配管

\wedge

警告

- ① 配管前に配管などのフラッシング或は洗浄を十分行い、管内の切粉、切削油、固形異物などを除去してください。これらが、管内に残っていますと作動不良の原因になります。
- ② 配管や継手類をねじ込む場合には、配管ねじの切粉やシール材が機器内部に入り込まないようにしてください。なお、シールテープを使用される場合は、ねじ部を1.5~2山あけて巻いてください。

配管

\triangle

警告

③ 配管材のねじ込みは、めねじ側を保持して推奨適性トルクで行ってください。 締付トルクが不足していると緩みやシール不良の原因となり、締付トルクが過大ですとねじ 破損などの原因となります。また、めねじ側を保持しないで締付けを行いますと配管ブラケット などに直接過大な力が作用し、破損などの原因となります。

推奨締付トルク 単位:N·m

接続ねじ	1/8	1/4	3/8	1/2	3/4	
トルク	7 ~ 9	12~14	22~24	28~30	28~30	

- ④ 機器の自重以外のねじりモーメント、曲げモーメントがかからないようにしてください。破損の原因になりますので、外部配管類は別に支持してください。また、鋼管配管などの柔軟性がない配管は、配管側からの過大なモーメント荷重や振動の伝播を受け易いので、フレキシブルチューブなどを介在させて、それらが作用しないようにしてください。
- ⑤ ドレンガイドにバルブ機能はついていませんので、必ずドレン排出用の配管を行ってください。 配管しないとドレンや圧縮空気が排出されます。なお、配管を行う際は、ドレンガイドをスパナ などで固定して行ってください。ドレンガイドを固定しないとケース破損の原因になります。
- ⑥ オートドレンのドレン排出配管を行う場合は、作動不良を避けるため、次の条件で配管して ください。

AD27は、配管内径φ 2. 5(φ 3/32")以上のチューブを使用し、長さは5m(200インチ)以内としてください。

AD37、47(N)は、配管内径φ 4(φ 3/16")、AD38、48(N)は、配管内径φ 6. 5(φ 1/4") 以上のチューブを使用し、いずれも長さは5m(200インチ)以内としてください。

空気源

\triangle

警告

- ① 清浄な空気をご使用ください。圧縮空気中に化学薬品、有機溶剤、合成油、腐食性ガスなどを含んでいますと部品の破損や作動不良の原因となりますので、使用しないでください。
- ② ドレンを多量に含んだ空気は、作動不良の原因となりますので、エアドライヤやアフタークーラ などをマイクロミストセパレータの前に設置してください。

\triangle

注意

- ①ドライヤの入口側への取付は、エレメントの早期目詰まりになるため、避けてください。
- ② マイクロミストセパレータの入口側には、早期目詰まりを避けるため、プリフィルタとして ミストセパレータ(AFMシリーズ)を取付けてください。

保守点検

\triangle

警告

- ① 取扱説明書の手順で実施してください。取扱いを誤ると、機器や装置の破壊や作動不良の原因となります。
- ② 樹脂ケースのクラック、傷、その他の劣化を検出するために定期点検を実施してください。 クラック、傷、その他の劣化が確認された場合は、破損の原因になりますので、新しいケース または、金属ケースに交換してください。なお、必要に応じ使用環境の調査・見直しを実施してください。
- ③ 樹脂ケースの汚れを定期的に確認してください。 汚れが確認された場合には、新しいケースに交換してください。洗浄する場合には家庭用中 性洗剤のみを使用してください。これ以外の洗剤などを使用しますと、ケース破壊の原因に なりますので絶対に避けてください。
- ④ ドレンコックの開閉は手動で行ってください。工具などを使用しますと、破損の原因になります。
- ⑤ エレメントの交換時期は、使用後2年間または、使用初期の出口圧力に対する圧力降下がO. 1 MPaになるまでに行ってください。エレメントの破壊原因となります。

Λ

注意

- ①ドレンの水位がエレメントアセンブリに達する前に、ケース内のドレンを排出してください。
- ② 定期的にエレメントを点検し、必要に応じて交換してください。 使用時において、出口圧力が通常より低下したり、流れにくくなった場合には、エレメントを 点検してください。
- ③ AD27の非常用のマニュアル排出は、ハンドルを左回転(O←方向)させて行ってください。 AD37~48の非常用のマニュアル排出は、ドレンコックを左回転(O←方向)させて行ってください。

2. 用途

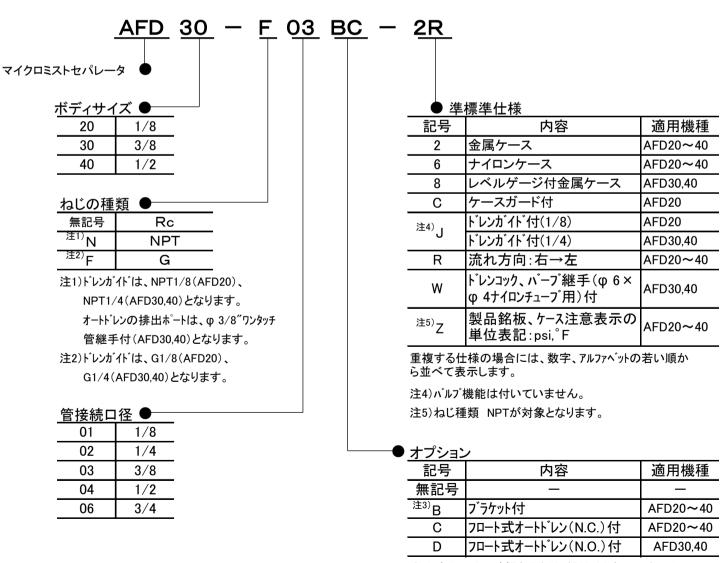
本器は、エアラインの油分と固形異物の除去を目的とするものです。

3. 標準仕様

型式	AFD20	AFD30	AFD40	AFD40-06
接続口径	1/8, 1/4	1/4, 3/8	1/4, 3/8, 1/2	3/4
使用流体		空	気	
保証耐圧力		1.51	MPa	
最高使用圧力		1.01	MPa	
最低使用圧力		0.05	MPa	
周囲温度及び使用流体温度		−5 ~ 60°C(冱	東結なきこと)	
^{注1)} 定格流量[L/min(ANR)]	120	240	600	600
ろ過度		O. O1μ m(捕	集効率99.9%)	
注2)出口側オイルミスト濃度	MAX.0.1mg/	m³(ANR) (油飽和前は)	0.01mg/m³(ANR)以下(:	≒0.008ppm)
エレメント寿命		2年または圧力降下	が0.1MPaに達した時	
ドレン貯留量 (cm³)	8	25	45	45
質量 (kg)	0.10	0.22	0.44	0.49
^{注3)} ケースガード	Δ	0	0	0

注1)入口圧力0.7MPaの場合。定格流量は入口圧力によって変わります。

4. 型式表示方法

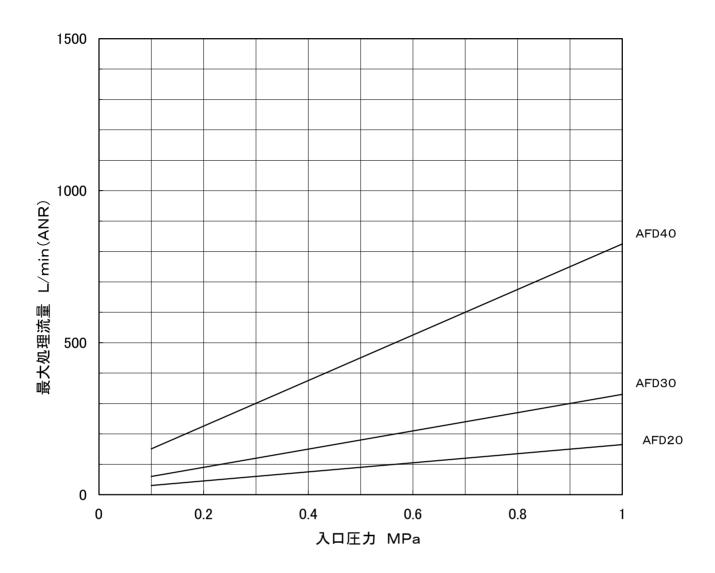


注2)コンプレッサオイルミスト叶出濃度30mg/m3(ANR)時

ケース"O"リングには少量のグリスを使用しています。

注3)○:標準対応 △:準標準対応可

5. 最大処理流量



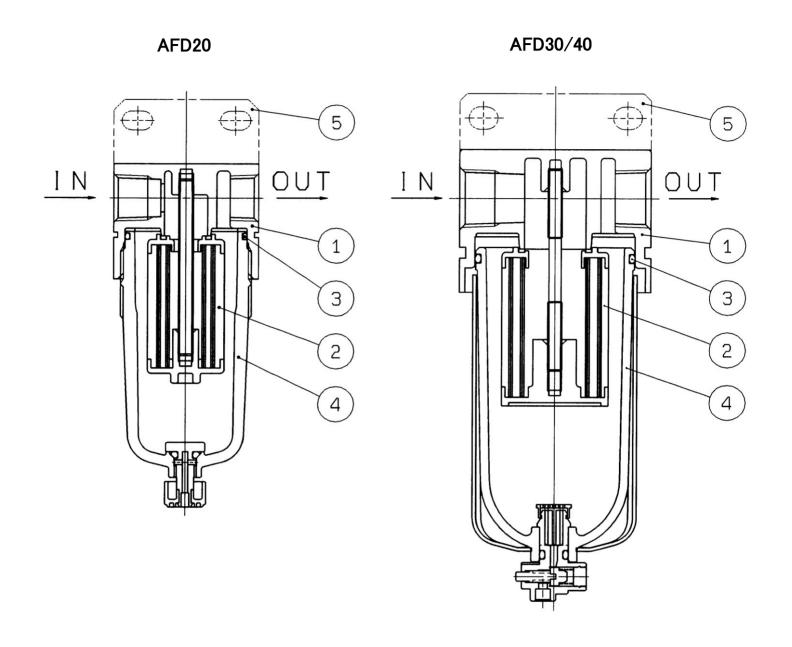
6. 故障と対策

「7. 構造図/パーツリスト」(P7)、「10. 分解図」(P12~P13)を参照してください。

	故 障	原因	対策
区分	現象	次	
	圧力降下が大きく	1. エレメントが目詰まりしています。	1. エレメントアセンブリを交換してください。
量	流量が流れない。		
	ケースとボディの間	1. ケース゛O" リングが損傷してい	1. ケース゛O" リングを交換してください。
ェ	からエア漏れする。	ます。	ケース゛O" リングにグリスアップして
			から組付けてください。
ア	ケースからエア漏れ	1. ケースが破損しています。	1. ケースアセンブリを交換または、
l	する。		金属ケースに交換してください。
漏	ドレンコックからエア	1. ドレンコックの弁部に異物が噛み	1. ドレンコックを数秒間開いて、ブロー
1.	が漏れる。	込んでいます。	してください。
れ		2. ドレンコックのシート部が損傷して	2. ケースアセンブリを交換してください。
		います。	
操	ドレンコックを開い	1. ドレンコックの排出口が固形異物	1. ケースアセンブリを交換してください。
探 作	てもドレンを排出し	などにより目詰まりしています。	
性	ない。		
一他	出口側の配管にドレ	1. ドレンの液面がエレメントアセン	1. ドレンコックを開いてドレンを排出し、
	ンが異常に出る。	ブリに達しています。	エレメントアセンブリを交換してください。

注)使用するグリスは、JX日鉱日石エネルギー ダイヤモンドグリス マルチパーパス2号を推奨します。

7. 構造図/パーツリスト



構成部品

番号	如口夕	部品名 材質						
田石	마매石	AFD20	AFD30	AFD40(-06)	備考			
1	ボディ		アルミダイカスト		プラチナシルバー塗装			

オプション/交換部品

***		H										
番号	部品名	主な材質		部品	番号							
田力			AFD20	AFD30	AFD40	AFD40-06						
2	エレメントアセンブリ	_	AFD20P-060AS	AFD30P-060AS	AFD40P-060AS	S AFD40P-060AS						
3	ケース゛O″リンク゛	NBR	C2SFP-260S	C3SFP-260S	3SFP-260S C4SFP-260S							
	ケースアセンブリ											
4	オートト・レン(N.C.)	Га	8. ケースアセン	ブリ仕様」(P8~P	10)を参照してく	ださい。						
	オートト・レン(N.O.)		10. アーバアピンプラは「第一(10)と多無して行ことが。									
⑤	^{注1)} ブラケットアセンフ「リ	鋼帯	AF20P-050AS	AF30P-050AS	AF40P-050AS	AF40P-070AS						

注1) ブラケットと取付けねじ(2本)のアセンブリです。

注2) 表中の番号は「7. 構造図/パーツリスト」(上記図)の番号、および「8. ケースアセンブリ仕様」(P8~P10)、「10. 分解図」(P12~P13)の番号に一致しています。

8. ケースアセンブリ仕様

1)AFD20用ケースアセンブリ

			注2)	C		-
準標準記 号	_	6	_	6	J	6J
外観図 部品番号	準標準記号「-」 (標準) 管接続口径 のねじ種類 のおし種類 RC C2SF NPT C2SF(-Z) 準標準記号「6」 管接続口径 のおし種類 RC C2SF-6 G NPT C2SF-6(Z)	8	準標準記号「-」 管接続口径 @部品番号 のおじ種類 のおりで AD27 G AD27 G AD27(-Z) 準標準記号「6」 管接続口径 のおじ種類 @部品番号 Rc AD27-6 G AD27-6 G NPT AD27-6(Z)	M5×0.8	準標準記号「J」 管接続口径	1/8 六角対辺:14
オプション記号	_	-	注2)	С	_	•
準標準記 号	С	6C	С	6C	CJ	6CJ
外観図 部品番号	準標準記号「C」 管接続口径 のねじ種類 Rc C2SF-C G NPT C2SF-C(Z) 準標準記号「6C」 管接続口径 のねじ種類 のねじ種類 Rc C2SF-6C G NPT C2SF-6C(Z)	B B	準標準記号「C」 管接続口径 のねじ種類 Rc AD27-C G NPT AD27-C(Z) 準標準記号「6C」 管接続口径 のねじ種類 のねじ種類 Rc AD27-6C G AD27-6C G AD27-6C G AD27-6C G AD27-6C(Z)	M5 X O . 8	 準標準記号「CJ」 管接続口径のねじ種類 Rc C2SFF-CJ G C2SFF-CJ NPT C2SFN-CJ(Z) 準標準記号「6CJ」 管接続口径のねじ種類 Rc C2SF-6CJ G C2SF-6CJ G C2SFN-6CJ(Z) 	1/8 六角対辺:14
オプション記号	_	-	注2)	С	_	•
準標準記 号	2	2	2	2	2.	J
	管接続口径 のねじ種類 Rc G C2SF-2 NPT C2SF-2(Z)	8	管接続口径 のねじ種類 Rc AD27-2 G NPT AD27-2(Z)	M5×0.8	管接続口径 のねじ種類 Rc C2SF-2J G C2SFF-2J NPT C2SFN-2J(Z)	1/8 六角対辺:14

- 注1)表中のBは、製品の全長寸法を表しています。「11. 外形寸法図」(P14)を参照してください。注2) 最低使用圧力は、0.1MPaです。 注3) ④部品番号には、③ケース、O"リンケが含まれます。「10. 分解図」(P12~P13)を参照してください。 注4) ④部品番号中の「Z」は準標準仕様で、圧力、温度の単位表記が、psi, 。 Fとなります。 注5) オプション記号、準標準記号については「4. 型式表示方法」(P5)を参照してください。

2)AFD30用ケースアセンブリ/オートドレン

オプション記号	_	注2) C	注2) D	_	_
準標準記号	– 6	- 6	- 6	J 6J	W 6W
外観図 部品番 号	準標準記号「-」 (標準) 管接続口径 のねじ種類	準標準記号「-」 管接続口径 のおじ種類 (4)部品番号 Rc AD37 NPT AD37N(-Z) 準標準記号「6」 管接続口径 のおじ種類 (4)部品番号 Rc AD37-6 G AD37-6 G AD37-6 G AD37-6 NPT AD37N-6(Z)	準標準記号「-」 管接続口径 ④部品番号 RC AD38 NPT AD38N(-Z) 準標準記号「6」 管接続口径 のねじ種類 ④部品番号 RC AD38-6 G AD38-6 G AD38-6 G AD38-6 G AD38N-6(Z)	準標準記号「J」 管接続口径 ④部品番号 RC C3SF-J G C3SFP-J NPT C3SFN-J(Z) 準標準記号「6J」 管接続口径 ④部品番号 RC C3SF-6J G C3SFF-6J RC C3SFF-6J NPT C3SFN-6J(Z)	準標準記号「W」 管接続口径 ④部品番号 RC C3SF-W NPT C3SF-W(Z) 準標準記号「6W」 管接続口径 のおし種類 ④部品番号 RC C3SF-6W G NPT C3SF-6W(Z)
オプション記号	_	注2) C	注2) D	_	
準標準記号	2	2	2	2 J	
外観図 部品番 号	管接続口径 のねじ種類 Rc G C3SF-2 NPT C3SF-2(Z)	管接続口径 ①部品番号 Rc AD37-2 G NPT AD37N-2(Z) 通用チューブ外径の10 (NPT:03/8")	管接続口径 ④部品番号 Rc AD38-2 G NPT AD38N-2(Z) 園用チューブ外径の10 (NPT:03/8")	管接続口径 ④部品番号 Rc C3SF-2J G C3SFN-2J(Z) NPT C3SFN-2J(Z)	
オプション記号	_	注2) C	注2) D	_	レヘ・ルケ・ーシ・付金属ケース 側面図
準標準記号	8	8	8	8J	
外観図 部品番号	管接続口径 のねじ種類 Rc C3LF-8 G NPT C3LF-8(Z)	管接続口径 ④部品番号 Rc AD37-8 G NPT AD37N-8(Z) 原色 適用チューブ外後の10 (NPT: の3/8")	管接続口径 ④部品番号 RC AD38-8 G NPT AD38N-8(Z) <u>10 10 (NPT:03/8")</u>	管接続口径 ④部品番号 Rc C3LF-8J G C3LFP-8J NPT C3LFN-8J(Z)	34.5

- 注1) 表中のBは、製品の全長寸法を表しています。「11. 外形寸法図」(P14)を参照してください。
- 注2) 最低使用圧力は、N.C.タイプ:0.15MPa、N.O.タイプ:0.1MPaです。
- 注3) ④部品番号には、③ケース、O"リンケが含まれます。「10. 分解図」(P12~P13)を参照してください。 注4) ④部品番号中の「Z」は準標準仕様で、圧力、温度の単位表記が、psi, °Fとなります。 注5) オプション記号、準標準記号については「4. 型式表示方法」(P5)を参照してください。

3)AFD40用ケースアセンブリ/オートドレン

オプション記号	_	注2) C	注2) D	_	_
準標準記号	– 6	- 6	– 6	J 6J	W 6W
外観図部品番号	準標準記号「-」 (標準) 管接続口径 のねじ種類 ④部品番号 Rc C4SF G NPT C4SF(-Z) 準標準記号「6」 管接続口径 のねじ種類 ④部品番号 Rc C4SF-6 G NPT C4SF-6(Z)	準標準記号「-」 管接続口径 のねじ種類 (4)部品番号 Rc AD47 G AD47N(-Z) 単標準記号「6」 管接続口径 のおじ種類 (4)部品番号 Rc AD47-6 G AD47-6 R AD47N-6(Z)	準標準記号「-」 管接続口径 ④部品番号 Rc AD48 G NPT AD48N(-Z) 準標準記号「6」 管接続口径 ④部品番号 Rc AD48ー6 G AD48ー6 G NPT AD48N-6(Z)	 準標準記号「J」 管接続口径 ④部品番号 Rc C4SF-J NPT C4SFN-J(Z) 準標準記号「6J」 管接続口径 ④部品番号 Rc C4SF-6J G C4SF-6J NPT C4SFN-6J(Z) 	準標準記号「W」 管接続口径 (4)部品番号 Rc C4SF-W(Z) 単標準記号「6W」 管接続口径 (4)部品番号 のおに種類 (4)部品番号 Rc C4SF-6W R C4SF-6W R C4SF-6W(Z)
オプション記号	_) <u>≒</u> 2) C	注2) D	-	
準標準記号	2	2	2	2J	
外観図 部品番 号	管接続口径 ④部品番号 Rc C4SF-2 G NPT C4SF-2(Z)	管接続口径 (4)部品番号 Rc AD47-2 G NPT AD47N-2(Z) 原色 原形 1 7 7 9 4 0 1 0 (NPT: 03 / 8")	管接続口径 ④部品番号 Rc AD48-2 NPT AD48N-2(Z)	管接続口径 のねじ種類 Rc C4SF-2J G C4SFN-2J(Z) NPT C4SFN-2J(Z)	
オプション記号	_	注2) C	注2) D	_	レヘ・ルケ・ーシ・付金属ケース 側面図
準標準記 号	8	8	8	8J	
外観図 部品番 号	管接続口径 のねじ種類 Rc G C4LF-8 G NPT C4LF-8(Z)	管接続口 (4)部品番号 Rc AD47-8 G AD47N-8(Z) 原色	管接続口径 ④部品番号 Rc AD48-8 G NPT AD48N-8(Z) まも 10 (NPT:03/8")	管接続口径 @部品番号 のねじ種類 Rc C4LF-8J G C4LFF-8J NPT C4LFN-8J(Z)	

- 注1)表中のBは、製品の全長寸法を表しています。「11. 外形寸法図」(P14)を参照してください。
- 注2) 最低使用圧力は、N.C.タイプ: 0.15MPa、N.O.タイプ: 0.1MPaです。
- 注3) ④部品番号には、③ケース・O"リンケ・が含まれます。「10. 分解図」(P12~P13)を参照してください。 注4) ④部品番号中の「Z」は準標準仕様で、圧力、温度の単位表記が、psi, °Fとなります。 注5) オプション記号、準標準記号については「4. 型式表示方法」(P5)を参照してください。

9. 交換作業要領

警告 交換作業前には、本機器内に圧力が無い事を必ず確認してください。 交換作業後は、必ず所定の機能を満足することと外部漏れがないことを確認してから装置を作動させてください。

1) ケースアセンブリ、エレメント

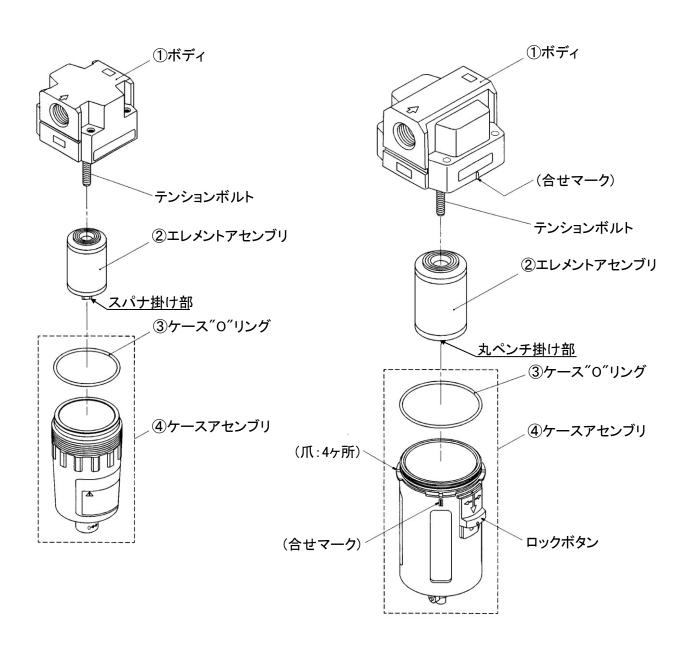
適用機種	作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目
	分解	① ケースアセンブリを取り外します。 手でケースアセンブリを握って左回転させて取り外します。堅い場合には、最初だけ引掛けスパナを使 用して緩めた後、手で取り外してください。	(引掛けスパナ 呼び:34/38)	_
		② エレメントを取り外します。 エレメントのスパナ掛け部にスパナを掛けて、左回転 させてエレメントを取り外します。	スパナ 呼び:7	_
AFD20	組付	③ ェレメントを装着します。 エレメントのスパナ掛け部にスパナを掛けて、右回転 させてエレメントを取り付けます。この時の締付トルク は、右記の管理項目を参照してください。	スパナ 呼び:7	締付トルク: 0.49±0.05N・m
		④ ケースアセンブリを取り付けます。手でケースアセンブリを握って右回転させて締付けます。ケースに傷付けますので工具などは使用しないで下さい。手締めによるトルクは、右記の管理項目参考締付トルク程度です。	_	参考締付トルク: 2.2 N·m

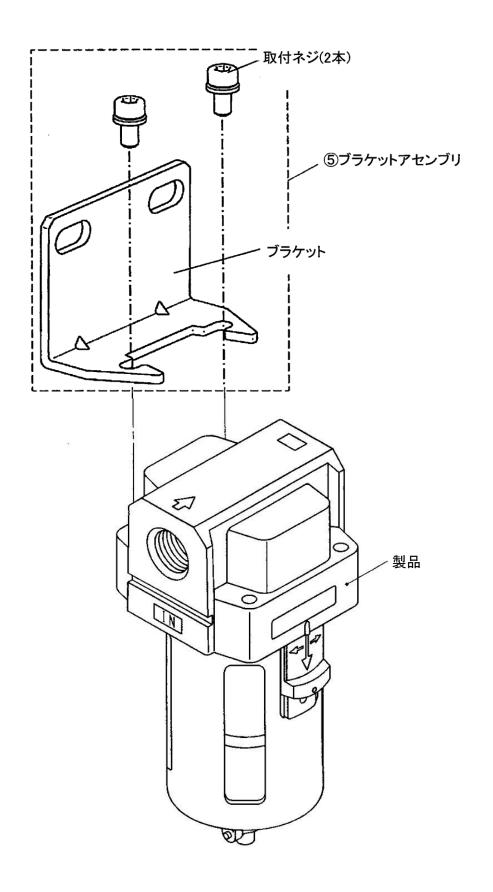
適用機種	作業区分	作業手順	使用工具類	管理項目
	分解	① ケースアセンブリを取り外します。ケースアセンブリのロックボタンを下に押し、ケースアセンブリを上側に持ち上げながら、左右のどちらかに45°回転させて、ケースアセンブリを引張って取り外します。	_	_
		② エレメントを取り外します。 エレメントの丸ペンチ掛け部に丸ペンチを掛けて、左 回転させてエレメントを取り外します。	丸ペンチ	_
AFD30 AFD40	組付	③ エレメントを装着します。 エレメントの丸ペンチ掛け部に丸ペンチを掛けて、右 回転させてエレメントを取り付けます。この時の 締付トルクは、右記の管理項目を参照してください。	丸ペンチ	締付トルク: AFD30 1.47±0.2N・m AFD40 1.96±0.2N・m
		 4 ケースアセンブリを装着します。 ホディの合せマークとケースアセンブリの合せマークを合せてケースアセンブリをボディに挿入し、左右どちらかに45°(ロックホックがパーテンと上がるまで)回転させて、ケースアセンブリを装着します。この時、ロックホックが上がっていることを確認してください。 	_	ロックホ [*] タンが上がって いること。

10. 分解図

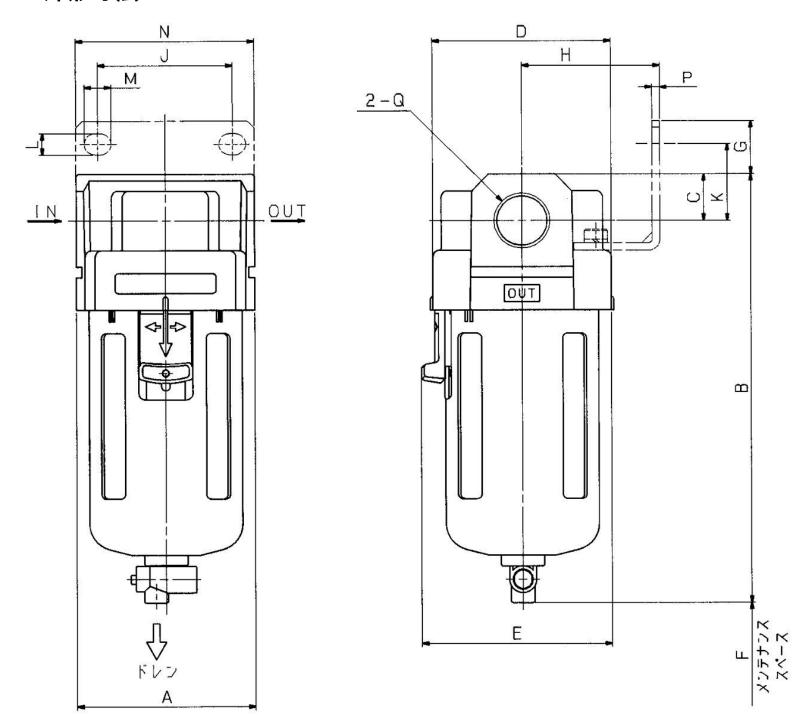
1)AFD20分解図

2)AFD30/40分解図





11. 外形寸法



	按结□汉	接続口径				標準仕様			オプション仕様						
型式	女心口吐	Α	В	C	D	F	_			•	ブラケ	ット付	-		
	Q	τ	Ь)	ט	Ц	_	G	Н	7	K	L	М	Ν	Р
AFD20	1/8-1/4	40	97	10	40	-	40	18	30	27	22	5.4	8.4	40	2.3
AFD30	1/4-3/8	53	129	14	53	57	50	16	41	40	23	6.5	8	53	2.3
AFD40	1/4-3/8-1/2	70	165	18	70	73	75	17	50	54	26	8.5	10.5	70	2.3
AFD40-06	3/4	75	169	20	70	73	75	14	50	54	25	8.5	10.5	70	2.3

オートドレン/準標準ケースのB寸法

<u>_// ートトレン/ 字標字/ ー人のBリ 法 </u>																							
オプション		-												С						D			
型式準標準	2	6	8	О	6C	J	2J	6J	8J	CJ	6CJ	W	6W	1	2	6	8	С	6C	-	2	6	8
AFD20	97	97	_	97	97	101	104	101	_	101	101	_	_	115	115	115	_	115	115	_	_	_	_
AFD30	142	129	162	_	_	136	136	136	156	_	_	137	137	170	171	170	171	_	_	170	171	170	171
AFD40	178	165	198	_	_	172	172	172	192	_	_	173	173	204	207	204	207	_	_	204	207	204	207
AFD40-06	182	169	202	_	_	176	176	176	196	_	_	177	177	208	211	208	211	_	_	208	211	208	211

注1)オートドレン、準標準ケースの仕様は「8. ケースアセンブリ仕様」(P8~P10)を参照してください。

改訂	「履歴	

P11 締付トルク訂正(N・D→N・m) '11.12.14 P11 エレメント ASSY 締付トルク値変更

- ② この内容は予告なしに変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- © 2008 SMC Corporation All Rights Reserved

